

2020年度大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成事業【大阪体育大学の取組】 ～「大体大ビジョン2024」拠点づくりの具現化：泉州スポーツコンソーシアムの形成をめざして～

建学の精神：不断の努力により智・徳・体を修め社会に奉仕する

「大体大ビジョン2024」 大体大が、新しい時代を切り拓く
体育・スポーツ・健康・福祉で社会の新たな価値創造

研究ビジョン

拠点づくりビジョン

教育ビジョン

体育学・スポーツ科学・教育学の研究・実践・人材の力を活かし、
地域社会の活性化に貢献する拠点づくりをめざす

【事業趣旨】 大阪体育大学が有する経営資源を存分に活用し、来るべきSociety 5.0の到来に向け、**本学の拠点である泉州地域**で「**スポーツと健康のまちづくりの推進**」を展開、大学スポーツの振興による地域活性化と、その事業モデルの検証と構築に取り組み、「**泉州スポーツコンソーシアム**」の形成をめざします。

泉州スポーツコンソーシアム形成に向けた3つの施策展開

地域活性化に向けた具体的な取組の推進

- ①「泉州スポーツ・健康資源実態調査」
- ②既存事業の充実・拡充
- ③新たな取り組みの企画・推進
- ④②、③の推進・展開を図る為のプロモーション計画の企画・立案・展開
- ⑤泉州アクティブライフマップの制作

大学のスポーツ資源を活用した コンソーシアムの形成等

- ①本学の従来事業を通じた関係自治体や企業とのさらなる協働・連携の更なる促進
- ②ワールドマスターズゲームズ2021関西を契機にした生涯スポーツ振興の推進・協力体制構築
- ④泉州地域のスポーツ・健康まちづくりの推進を通じた泉州スポーツコンソーシアムの構築

外部資金の獲得のための企画・立案

- ①大学スポーツの振興を通じた地域活性化を推進するために必要な資金の調達・確保策の検討
- ②大学や学校法人における収益事業の推進の可能性や税制上の課題の検証
- ③スポーツ・健康まちづくり事業の持続的な発展や自走化の検証